

そうだんうけつけけんすう
【相談受付件数 R3年4月～7月】

ほうじんほんぶ よ そうだん しょうさい そうすう
法人本部に寄せられた相談の詳細（総数 48件）

- 身寄りがなく身元保証人等に困っている…29件
- 住む場所がない…32件 ・ お金の管理が難しい…8件
- 罪を犯して生活に困っている…4件 ・ 医療同意について…4件
- その他、どこに相談したら良いかわからない（関係機関紹介）等…19件



特定非営利活動法人
あきた結いネット

〒010-0973
秋田市八橋本町 3-20-21
TEL 018-874-8897
発行担当者：菅原 啓汰



さくら咲く令和3年8月号

残暑お見舞い申し上げます。

朝夕には秋風を感じられるようになり過ごしやすい毎日となりました。皆様、お変わりなくお過ごしてでしょうか。
全国的には大雨の影響で土砂崩れや床上浸水等の被害が見られ、地球温暖化の影響を感じるとともに、一年間を通して自然災害の恐ろしさを痛感しております。あきた結いネットでは、福祉サービス事業者に2024年まで策定が義務づけられた業務継続支援（BCP）の作成に取り組んでいます。BCPとは、感染症蔓延時や災害が発生した際に事業所が被る損害を最小限に抑えて業務を継続、あるいは復旧させるための計画案です。コロナウイルス等の感染症や、地震、洪水等があってもサービスが継続的に提供できる体制はとても重要だと考えています。

相談内容を見ていただいただけと分かりますが、コロナウイルスの影響も少しずつ露呈し始めています。柔軟な対応を心がけ、様々な機関と連携しながら、現状を乗り越えていきたいと思っております。

特定非営利活動法人あきた結いネット
理事長 坂下 美渉

りじしょうかい
理事紹介



法人副理事の鮎川 義寛と申します。あきた結いネットに
関わらせていただくことで沢山の方との出逢いがあります。
私にとって、その一つ一つが大切なご縁であり、新たな
つながりを持つことに感謝しております。人との出逢いを
大切に、人と出会う場を大切にしながら活動していきたい
と思っております。皆さま、どうぞよろしく願い致します。

【暮らし楽しみ店 story catからのお知らせ】

当法人の『就労継続支援B型事業所えこま〜る』にて運営
している雑貨店『story cat』では、インターネット上で
InstagramなどのSNSを通じて宣伝を行っております。
2021年8月時点で、フォロワー様（チェックしている方々）
が、なんと合計600人以上となっています！
定期的に販売・取り扱い商品のご紹介やイベント出店
情報などを発信していますので、ぜひご覧ください！

暮らし楽しみ店
story cat
ストーリーキャット
ストーリーキャット インスタグラム
story cat Instagram
は上記QRコードまたは
「storycat1107」で検索
フォローお待ちしております

わたし かつどう しょうかい
私たちの活動を紹介します！！ part 5

てんきよしえん じれい
【転居支援の事例】 ホームレスのケース

<ケースの概要>

- ・Kさん 40代後半 男性
- ・無職（2020年にリストラで解雇）
- ・病歴：糖尿病 一時熱中症など
- ・携帯料金などの滞納、未払いあり



2020年某日、秋田市内の病院より「**現在入院中**
で退院後の行き先がない方がいる」との相談が入る。相談員がご本人と面談し、詳しい話や事情を伺う。失業し住居を失った。そのため秋田市内の公園にて寝泊りしていたところ、持病が悪化しさらに重度熱中症となったため緊急搬送され入院したとのこと。関係機関と情報共有や調整の上、ご本人とシェルター入居の契約をし、受け入れを行った。



結いネットでサポートしたこと

- ・生活保護の申請同行
- ・食糧品、生活用品の提供
- ・毎日の体調、生活状況の確認
- ・金銭管理支援
- ・アパートへの転居に向けた各種相談、身元保証
- ・アルバイト情報の提供

現在の生活

定期通院しながら一人暮らしを継続中！

じれいしょうかい
事例紹介

そうだんないよう じれい
相談内容の事例について



でんわ たいめん
（電話・対面）

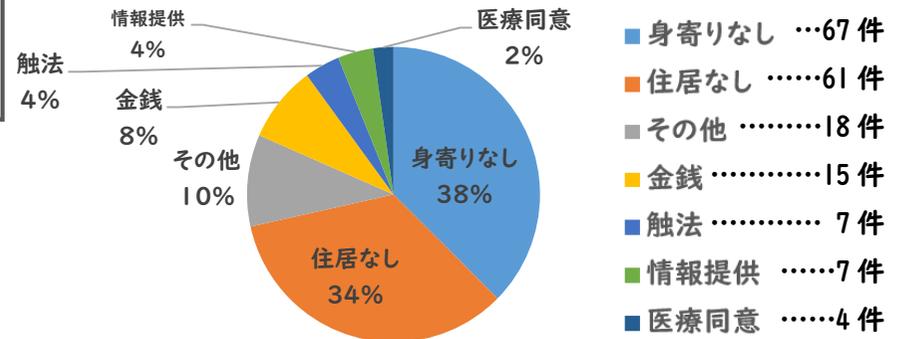
ほんぶじむしょ めんだんしつ
【本部事務所 面談室】



当法人には、秋田市内外を問わず様々な相談が日々寄せられています。今回は、そうした数多くの事例から「転居」「コロナ禍」に関する相談の内容をご紹介します。

ねん かみはんき
2021年 上半期
（1～6月）相談件数

※複数カテゴリが重複しているケースあり



か そうだんがいよう
【コロナ禍における相談概要】

- ① 県外にお住まいであった男性。コロナ禍の影響で職を失い、実家のある秋田県内に戻ってきたが家族に門前払いされてしまった。所持金残りわずかだが、家族は年金暮らしでお金の工面は難しい状況。当法人のシェルター（志を結び）が当時満床であったため市役所の相談窓口を**JOB**ご紹介。※シェルターが満床で入居をお断りするケースは年間10～20件程度。



- ② 秋田県内にお住まいの高齢男性のケース。身体的な負担や高齢であることから一人暮らしに限界を感じ、ショートステイの利用を希望されていた。しかし、利用時に必要な身元保証人がおらず、唯一なってくれる可能性がある親族は県外におりコロナ禍のため緊急時などに県外からの往来が難しい状況。このため、施設側の承認を得る



ことが難しく困っていた。当法人の身元保証サービス「結いの手」を利用し、手続き後無事、施設利用可能となった。